

町長 だより



先月は、年始のご挨拶をはじめ、消防出初式、二十歳のつどい、賀詞交歓会などの新年行事への対応と共に、国の補正予算による物価高対策として、お一人5,000円分のギフトカードを交付するなどの生活者支援事業を執行する議案を審議する臨時議会の開催が重なり、あわただしい年の始まりとなりました。

今月は、高市総理の衆議院解散宣言に伴い、2月8日に執行される衆議院総選挙への対応業務、さらに当町の行政運営の要となる新年度の予算編成業務が重なっておりますが、いずれの業務も町民の皆さまの“安心・安全な生活の確保”に直結する重要業務であることから、万全の体制で取り組ませていただいております。

結びに、今年の冬は例年より少しおだやかな印象もありますが、“花粉症”の発症は例年より早いとのこと聞いております。投票日にご協力をお願いしております立会人の方をはじめ、町民の皆さまにおかれましては、くれぐれも“体調管理”にご留意いただきますようお願い申し上げ、今月のご挨拶とさせていただきます。

令和8年2月1日

町長 矢野純男

今月の表紙

令和8年 二十歳のつどい

1月11日（日）、保健福祉センターで「令和8年 二十歳のつどい」が開催され、二十歳を迎えた男性68名、女性79名の合計147名が参加しました。

式典が始まる前には、仲間と再会し、懐かしむ姿やお互いの成長を喜び合う姿などがあり、きらびやかに着飾った晴着、凛々しいスーツ姿で嬉しそうに写真を撮っていました。

式典では馬場優音さんが司会、進行を務め、代表の芝山奈那美さんが答辞で抱負と決意を述べられました。

式典後には、二十歳のつどい実行委員会主催のイベントが行われ、会場は大いに盛り上がりしました。



(晴れ着姿で記念撮影する参加者)



(式典の様子)